

学校名 加須市立樋遣川小学校
所在地 加須市下樋遣川427
電話 0480-68-5770

1 本校の概要

加須市は埼玉県の北東部に位置し、県内の市町村で唯一、北関東の群馬・茨城・栃木の3県全てに隣接している。本校は通常学級6、特別支援学級2、児童数87名の小規模校である。今年度の校内研究テーマを「互いの意見を認め合いながら、生活上の諸問題を自分事として解決しようとする児童の育成」とし、委員会活動と連携した読書活動にも力を入れている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ア 読書への関心を持続させるための取組
- イ みんなで読書をするための取組
- ウ 多様な本に出合うための取組

(2) 実践の概要

ア 読書への関心を持続させるための取組

① 年間読書冊数及びページ数の設定

年間読書冊数及びページ数を設定し、達成した児童は読書コーナーの「読書のにじ」にパーツを貼ることができる。クラス全員が達成すると虹が完成する。年間を通してコツコツ読書をすることを目指し、掲示を工夫した。

② 図書委員中心の読書強化期間の実施

学期毎に図書委員会を中心とした読書強化期間を設けている。1学期の読書週間では、目標冊数及びページ数の達成者の表彰や本の紹介、2学期にはブックじやクラス読書目標の設定、図書委員会による読み聞かせを実施した。3学期には全校で協力して目標を達成する「みんなで1000冊読めるかな」の取組やビブリオバトルの実施を予定している。設定した目標は、読書の虹の壁面に掲示し、全校が見返せるスペースになっている。



読書週間中の目標を達成した児童は名前を記入した花を貼った。クラス毎のお花畑が完成。

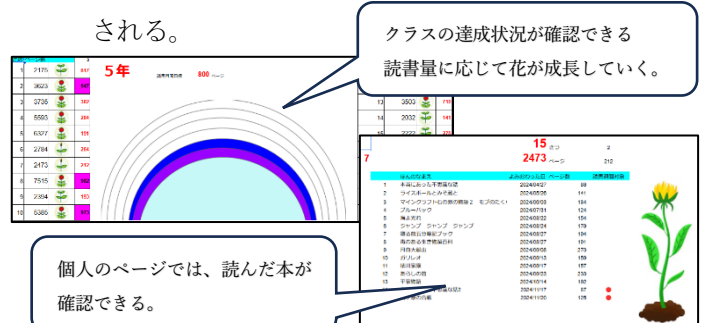
読書週間中のクラス毎の目標数を掲示。

年間読書数を達成した児童が貼る読書の虹のスペース。

③ タブレットによる読書量の確認

タブレットによる読書記録を実施している。タブレットでの管理になり、児童一人一人の読書量の確認が簡単に早くできる。クラスページもあり、

クラスの仲間の読書量や読んだ本の種類なども確認することができる。読書量が増えると、種から芽が出てつぼみになり花が咲く。タブレット上でも虹が完成する仕組みになっている。さらに、読書強化期間には、クラスページに達成状況が掲示される。



クラスの達成状況が確認できる読書量に応じて花が成長していく。

個人のページでは、読んだ本が確認できる。

イ みんなで読書をするための取組

① クラス毎の活動

個人の読書量に差があることを問題点として、クラス毎に学級会で話し合いを実施した。個人の読書量の充実と読書の幅も広げるために、「ぐるぐる読書」や「読書ビンゴカード」、「おすすめ本紹介コーナー」などの活動が決定され、実施された。

② 委員会による表彰の実施

クラス毎に期間内の目標冊数及びページ数を決め、それを達成したクラスには図書委員会による表彰式を実施する取組を行った。



図書委員会によるブックじの様子

ウ 多様な本に出合うための取組

① お話会「たんぼぼ」や図書委員による読み聞かせ
 年4回のボランティアによる読み聞かせや図書委員の低学年への読み聞かせにより、本と出合いの機会を増やし、本への親しみの気持ちを育てている。

② 加須図書館との連携

学習状況に合った本や教科書の掲載本を毎月届けてもらい教室に整備することで、本を身近に感じられた。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 年間を通じて読書に励む児童を育てた。
- イ 様々な取組を通して、児童の読書量が増えた。

(2) 課題

- ア 本の魅力を実感し、進んで読書する児童の育成。
- イ 生涯読書を見通した家庭や図書館と協力した読書活動の推進。